提案者 となみ衛星通信テレビ株式会社 実施地域 富山県南砺市地域 タ 南砺市地域の農業従事者は高齢化

分野別モデル

スマート農業・林業・漁業

事業概要

南砺市地域の農業従事者は高齢化と後継者不足が課題となっている。そこで生産性の向上や農業技術の伝承のため圃場の育成状況を収集・蓄積・分析をし省力化と安定した生産管理を実現する。また、データを活用して新規従事者や高齢従事者でもオペレーション可能な安心安全な農業を目指す。そして、栽培から出荷までのトレーサビリティーを確保し商品価値の向上を図る。

実施内容①

育成状況の見える化の 実現

実施内容②

農業技術の伝承及び経験 の浅い従事者への支援

実施内容③

炎天下の中で作業をする 農業従事者の安全の確保

実施内容④

無人のローバーを活用しての人的労力の削減

実施内容(5)

生産から出荷まで商品の 安全確保及び証明

- ①圃場にカメラを設置し育成状況を収集・ 蓄積・分析。(AIを活用)
- ②スマートグラス付属のカメラで撮影し 経験の浅い農業従事者へMEC経由で 農業従事者へリクエスト映像を送信



③圃場の各種情報と農業従事者の 行動を当てはめ体位や加速度等を 感知し危険に応じてアラームで通知。



※AIの精度を短期間で向上させるため、 AIに農業経験者の判断も教師データ として取り込むことで経験値も伝承する。 そのデータ収集にはケーブルテレビの データ放送を活用しデータ収集



④無人のローバを活用して草刈りや 農薬散布を行い人的労力を削減する。 また、圃場カメラでは認識できない 細部の情報を搭載したカメラで認識をする。



南砺地域IoT農業管理PF

汎用情報プラットフォーム (FIWARE)を活用

データをAI活用で可視化、 分析しAPIで公開。 2次利用を促し情報連携した 営農管理システムで 経営支援

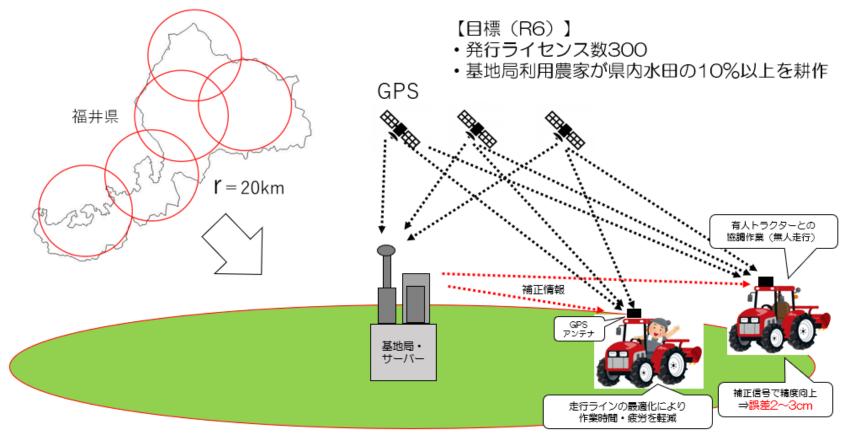
⑤ブロックチェーンを用いて栽培から 出荷までのトレサビリティ―の確保と 利用者を認証した上での情報共有



スマート農業推進基盤整備事業

提案者	福井県農業共済組合				
実施地域	福井県内全域 分野別モデル スマート農業・林業・漁業				
事業概要	福井県の農業は作業者や後継者の不足、高齢化が進んでいる。農作業の省力化および経験が 浅い農業者の作業精度向上のため、GPS基地局を県内全域に設置し、スマート農機の導入による 農業者の経営・地域農業の発展を目指す。				

事業のイメージ



農福連携におけるIoT栽培ナビゲーション利活用事業

提案者	合同会社ど根性ファーム			
実施地域	岡山県笠岡市	分野別モデル	スマート農業・林業・漁業	
事業概要	担い手の育成、かさおかブランド 「儲かる農業」の営農モデルを体業では、ど根性ファームに農業Ioの知見をクラウド上に収集する。よとで、栽培マニュアルを作成する。収穫等の作業を適期に受け取れ	の育成、6次産業化系的に構築すること Tセンサーを導入し、 収集された情報を植 裁培マニュアルと る仕組み「IoT栽培す も有し、生産性向上(地域資源を活用した「儲かる農業」を目指し、を推進している。そこで両者が連携体となり、で、地域に根ざした農業振興を図る。本事環境データ、栽培管理作業、地域の篤農家物科学の観点から、整理・分析・解析することで、防除・ビゲーション」を構築する。将来的には市収量アップ)に貢献することで、地域におけ	

IoT栽培ナビゲーションシステム概念図



圃場ごと環境データ



栽培マニュアルと照らし 合わせ知識処理



高度な営農情報として 適期に通知











スマートフォン・タブレット等に通知

曽於市地域IoT実装推進事業

鹿児島県曽於市 提案者 G空間防災システム 分野別モデル 実施地域 鹿児島県曽於市 タブレットやドローンとGISの連携で、災害調査・農林業の調査業務に活用し業務を 効率化。更に、赤外線カメラ付きドローンで行方不明者捜索への活用や、有害鳥獣の 分布調査へも活用い、イノシシなどの罠設置の効率化に役立てる。GISで全庁的に災 事業概要 害情報を共有し、収集したデータの活用で、災害が発生しやすい地域を把握し、地域 の強化に繋げ、災害情報を市民に公開し、市民の安心・安全を図る。

災害情報

既知の防災情報や、災 害時の状況写真と共に 場所など被害情報. 復 旧工事の情報も入力. 人の捜索に活用し地点 や状況を登録

農業情報

転作確認や作付調査 の情報(写真・場所・生 育状況等)を入力

林業情報

伐採や再造林の地点 等の状況を写真と共に 入力, 有害鳥獣の分布 調杳

害の全体像 把握に活用

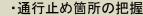
外線カメラ付ド ローンを活用

ドローンを活用 し. 短時間で広り 範囲の農地調 杳

ドローンの活用 で現地に行くこ となく林地調査

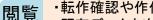
赤外線カメラ付ド。 ローンで有害鳥 獣の分布調査

防災•土木•交通



- 災害情報の全庁共有と重複情報の把握
- 防災情報の活用
- 発注データの活用
- ・災害復旧の進捗把握
- ・人の捜索箇所や状況の把握

農業



- 転作確認や作付調査の進捗把握
- ・既存データを次期調査で現地活用
- 遊休農地や耕作放棄地の状況把握

林業

- 伐採状況の把握
- 再告林推進や指導に活用
- 林道被害の状況把握や指導等に活用
- ・有害鳥獣の活動範囲を把握
- ・有害鳥獣の罠設置にデータを活用

期待できる導入効果

- 災害調査の早期完了
- 被害情報の全庁的な情報共有
- 被害個所の重複調査の解消
- 通行止め情報の公開で市民の安全確保
- ・う回路の把握. 公共交通の維持
- ・地域の補強工事の偏りを解消
- 行方不明者の早期安全確保
- 消防防災関係機関との情報共有
- •GIS活用で調査業務を省力化
- ・調査データの集積・活用で調査精度UP
- ・ドローン活用で一帯の調査時間を短縮
- 調査業務を省力化し営農指導を充実
- 再告林の促進と未整備林の減少
- 崩壊林道の早期把握と対応
- 効率的な罠の設置
- 猟友会との情報共有
- 有害鳥獣被害の減少





人の捜索に赤

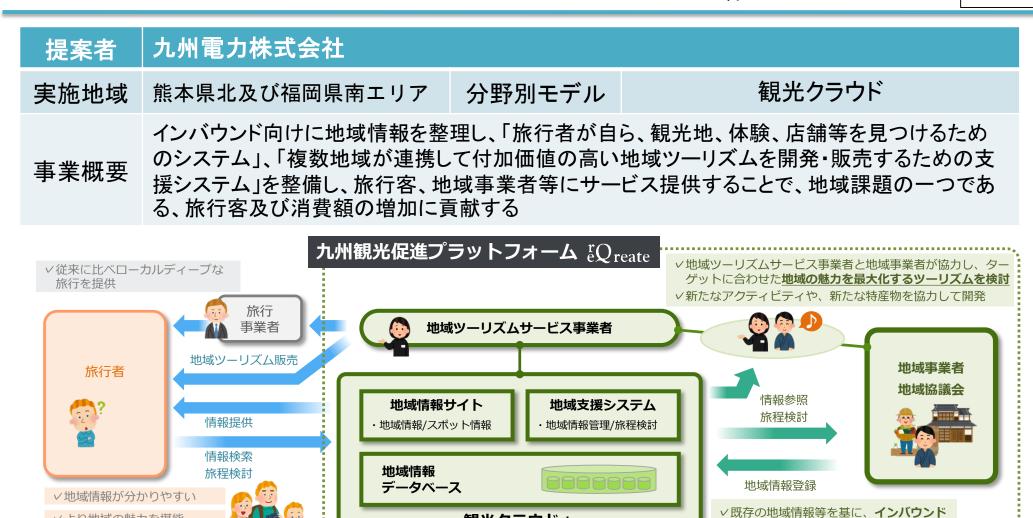


閲覧



対応を考慮したデータベースを整備

九州観光促進プラットフォームによる地域活性化



観光クラウド+

- ・2019年度に整備した地域情報データベース及び地域情報サイトをベースに、以下の取組みを実施し、
 - ✓県境をまたいだ広域化(熊本県北部の昨年度対象外地域、福岡県南部地域を対象にエリア拡大)
 - ✓SDGsや衛生対策等の情報を提供し、新たな旅のあり方を提案

∨より地域の魅力を堪能

✓体験、購買等の意欲向上

・最終的には、地域情報と支援サービスの拡充による「受入れサービスの向上」と「旅行販売による収益向上」の好循環を目指す

My City Report for road managers

道路管理者による巡回時の道路損傷の自動検

Allによる道路損傷自動検出アプリ(道路管理車両に搭





クラウドを通じた共 同利用環境の提供



My City Report for citizens

市民協働による街の不具合の発

②不具合通報アプリ(市民が投





④市民投稿対応進捗管理画面(行政)

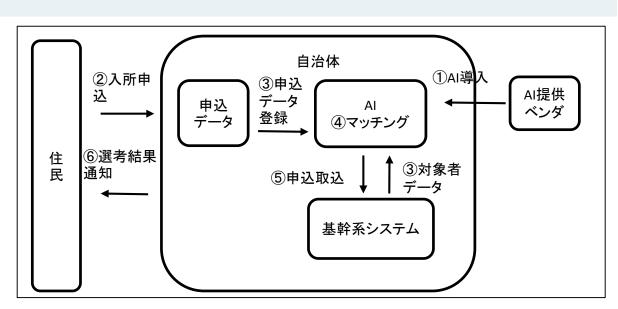


保育所AI入所選考システム導入事業

提案者	小田原市保育課				
実施地域	小田原市	分野別モデル	保育所マッチング		
事業概要	職員が手作業で実施していた入所選考を機械的に実施可能なAIシステムに切り替えることで スの発生を防ぐとともに、入所選考の作業時間を削減する。				

課題

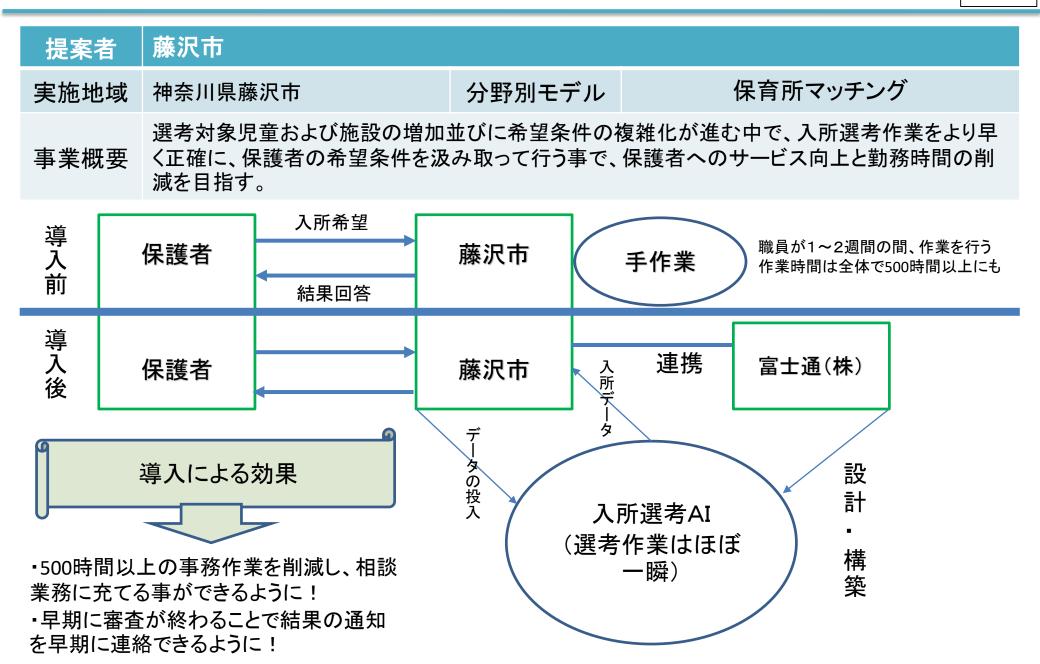
- ●兄弟申込の希望順位や兄弟で指数 が異なるなど年々入所選考基準が複雑 化していることに加え、様々な要望を踏 まえて選考を実施していく必要があり、 事務の負担が増加している。
- ●職員が手作業で実施しているため、 選考ミスの発生を招くおそれが高くなり つつある。



目指すもの

- ●職員の手作業では延べ約700時間かかる保育所の入所選考を短時間で完了させる。
- ●機械的に実施可能なAIシステムに切り替えることで、ミスの発生を防ぐとともに、入所選考の作業時間を削減する。

保育施設入所選考AIの導入



AI音声認識機能による議事録作成支援

提案者	沼津市			
実施地域	沼津市 分野別モデル AI活用			
事業概要	ICレコーダーで録音した音声の文字起こしによる議事録の作成に多大な時間と労力を費やしていることから、AIによる認識機能を活用した会議録システムを導入することにより、職員の事務負担の軽減を図る。			

	会議中	編集	関係者へ共有 市民への公表
現状	会話録音	・音声データ・会議資料・ 度重なる確認をしながら議事録の作成● 編集多くの時間と労力を費やしている	
導入後	会話録音	 ・音声データ ・編集 ・一次作成が完了しているため編集時間が短縮 ・参加者リスト AI(先端技術)の利用 	

AIを活用した自治体業務効率化・省力化推進事業

袋井市 提案者 分野別モデル 議事録作成AI•AI-OCR 実施地域 静岡県袋井市 地域IoT実装推進ロードマップ分野別モデルであるAIを活用を通じて議事録作成や申請書の入力 作業における業務の効率化・省力化を実現し、これまで職員が定量的・定型的な業務に費やして 事業概要 いた時間や業務委託などによって補っていた経費を削減するとともに、定型業務削減すること よって対人サービスの拡充や政策立案に係る時間を増やすことで、行政サービスの向上と働き 方改革の推進する。 市議会や庁内における定例の会議等における議事録作成をAIの音声認識機能により、音声データをテキストデータへ変換 議事録作成AI し、議事録作成等の補助を行う。 【庁内における会議の場合(職員作業)】 【市議会の場合(委託)】 導入前 会議 テキスト化(委託) 補正作業 公開

公開

- ※委託からAIの活用によるコスト削減(3,211,960円→2,772,000円)
- ※委託からAIの活用によるテキスト化の時間短縮(約1週間→約1日)

テキスト化(AI)

補正作業



※職員作業からAIの活用による作業時間の縮減



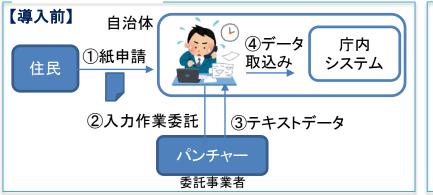
会議

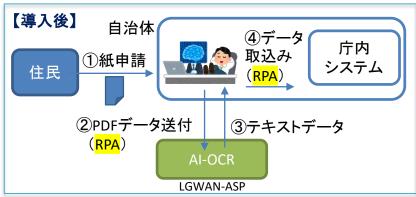
プロセス

導入後

プロセス

AI-OCRとRPAを連携させることで、申請書の受理から業務システムへの入力作業を自動化し、事務の効率化を図る。

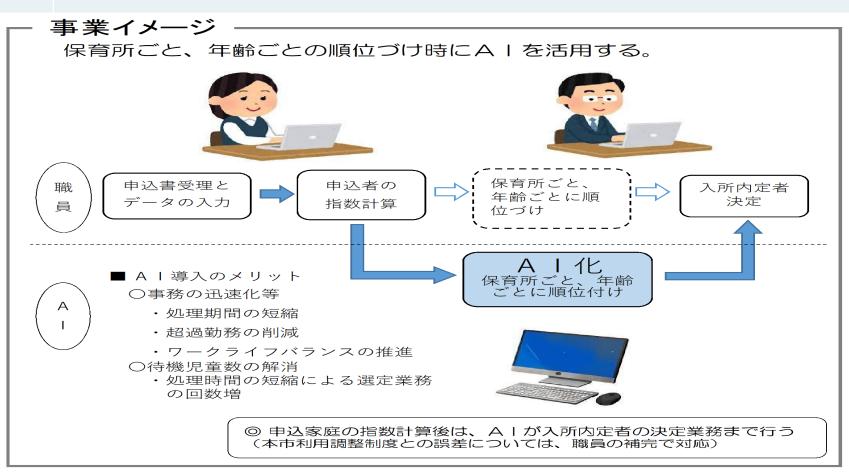




- ※ 委託からAIの活用によるコスト削減 (2,383,349円 →1,320,000円)
- ※ 業務委託ではなく、職員が直接行う業務については、作業時間を短縮する(3/5に縮減)

保育所入所事務AI活用事業

提案者	尼崎市			
実施地域	尼崎市 分野別モデル AIによる保育所入所選考マッチン			
事業概要	年々増え続ける保育所入所申込みに対する利用調整業務の一部について、AI(人工知能)を活用して業務の効率化・適正化を図る。			



保育所等入所調整AI活用事業

提案者	京都府京田辺市				
実施地域	京都府京田辺市	府京田辺市 分野別モデル 子育て支援プラットフォーム			
事業概要	保育ニーズが増加及び多様化することに比例して、保育所等の入所調整に要する人員や時間増加する傾向にある。手作業で行っている保育所等の入所選考事務について、AIを活用することによって作業時間を短縮し、より早く結果を通知することを可能にするとともに、作業に充てていた時間を他の業務に割り振ることにより、市民サービスの向上を実現する。				
保 (AI活用による入所調整) 保 (AI活用による入所調整)					

間 作 短 縮 入所申込 より早く 向上を実 民 現 護 市 護 受入確認 (余裕のある入所準備 保育所等 入所手続

福山市問合せ対応チャットボットシステムの構築

広島県 福山市 提案者 AIチャットボットによる問合せ自動応答 実施地域 広島県 福山市 分野別モデル

事業概要

市民ニーズの多様化により、増加する業務量を人で対応するには限界が見え始めている。 限られた人的資源で市民サービスを向上させつつ、持続可能な行政運営を実現するために有効 な手段として、一般的な問合せに対して自動応答を可能とするAIチャットボットを導入する。



デジタルガバメント推進



今後 AIチャットボットによる回答から電子申請へ連携させる等, 手続きのデジタル化につながることが想定できる。

感染症拡大防止 VS COVID-19

Web上での問合せを可能にすることで、新型コロナウイルスなどの 感染症拡大防止に効果がある。

市民の声の蓄積



問合せ内容を一括でデータ蓄積することが可能となり、市民ニーズ の把握や、これまでにない視点での分析が可能になる。

AIチャットボット



24時間365日の窓口

時間や場所にとらわれない問合せが可能となり、多様化するライフスタイル に順応した行政窓口が実現できる。

外国語対応



中核市の中でも比較的外国人比率が多く(参照_中核市市長会 都市要覧(H30年度)), さらに東京オリパラ、世界バラ会議の開催に伴い今後も増加が見込まれる。

知見の集約と対応の一元化 □ ♥ ♡



職員の持つノウハウをボットに教育することで、一定水準の回答を 統一的に返答することができる(対応のムラを解消)。

AIアルゴリズムにより 言葉の表記や言い回しの違い (揺らぎ) をとらえる



- ☑ 的確かつ精度の高い回答が可能
- ☑ 学習データのメンテ工数が少ない(持続可能性)

保育園入園選考システム導入事業

提案者	岡山県井原市			
実施地域	岡山県井原市全域 分野別モデル AIによる保育所入所選考マッチ			
事業概要	保育の需要の高まりによる入所申込数の増加への対応のため、利用調整を自動で行うことができる「保育所AI入所選考システム」の導入により、業務効率化及び職員の負担軽減、住民サビスの向上を図るもの。			

現状

申請者の様々な事情を考慮しながら、施 設の空き情報をもとに、担当者1名が、手 作業で入所選考を実施している。

入所申込の増加により、利用調整に係る 作業時間が増加し、申請者への結果通知が 遅れ、就労状況等に影響。

年間作業時間:約1,000時間

AI入所選考システム導入後

申請者の情報をシステムに取り込み、様々な事情、選考基準に基づき、選考結果を瞬時に、導き出すことができる。

申請者の希望を可能な限り叶えられた選考結果が、すぐに確認でき、早期に入所結果をお知らせできる。

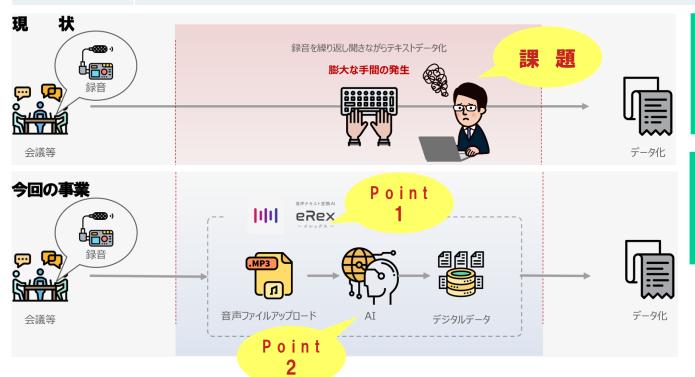
!!年間作業時間 約400時間の削減が可能!!

AI導入による効果

- ○選考結果をAIで導くため、公平で正確な選考を実現。
- 〇瞬時に結果を導き、結果の確認がすぐできることで、選考結果の早期連絡が可能になり、復職・育児休暇延長等、 保護者の早期判断・手続きの負担軽減が実現。
- ○入所選考に係る時間が、大幅に削減され、その他の子育て支援施策、住民サービスへのきめ細やかな対応の実現。
- ○担当職員の長時間労働の是正による働き方改革の実現

方言音声データのテキストデータ化

提案者 鳥取県日吉津村 分野別モデル ⑥AIによる音声データのテキストデータ化 事業概要 議事録作成業務について、ICレコーダー等で録音した音声データを、AI議事録システムを活用して作成することで業務改善を図る。また、ことば(方言)が同じ近隣の自治体とLGWANーASPを利用したAIクラウドの共同利用を目指すとともに、複数の自治体で共同してAIの学習機能の向上を図る。



課

題

- ・議事録作成に時間がかかる。
- ●村民への情報提供が遅れる。
- ・議事録システムのデモ検証で、鳥取 西部特有の方言が上手く変換でき なかった。
- ・単独でのシステム導入はコストが高い。

事業ポイント

- LGWAN-ASPのシステムを利用 することでコストを削減。業務用端末 でのシステム利用が可能。
- ② ベンダーが提供するAIクラウドを利用することで、複数の自治体で共同利用の検証が可能。

ottori

【鳥取県西部圏域】 ●同一方言エリア

【方言の特徴(例)】

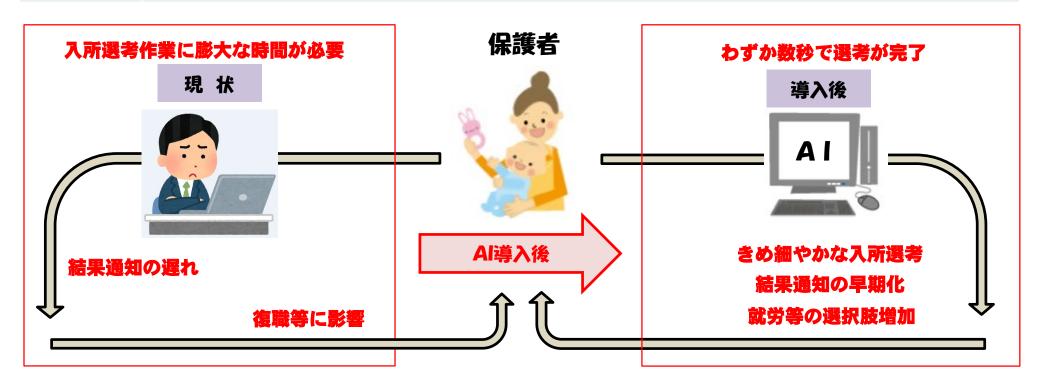
推量・勧誘・意志を表す形に、「行こう」「だろう」ではなく「行か(あ)」「だら (あ)」が用いられる

共同利用

ベンダーが提供するAIクラウドを、方言が同じエリア単位の自治体(鳥取県西部圏域)との共同利用の検証を行う。AIを共同利用することで、単語登録の効率化と、AIの学習機能の向上が期待できる。

AIを活用した保育所入所選考事業

提案者 愛媛県宇和島市 分野別モデル 保育所マッチング 当市では、就学前児童数は減少傾向にある一方で、要保育者数は横ばいで推移していることから、保育利用率が比較的高く、保育需要は年々高まっている状況である。また、保護者の世帯状況や希望等に応じ、複雑な選考基準の下で職員が手作業で入所選考を行っており、結果通知を行うまでに膨大な時間を要しているため、保護者の復職などに影響が出ている。入所選考にAIを導入することによって、市民の保育ニーズに的確に応えるとともに、選考業務の大幅な時間短縮による早期の結果通知を実現することで、市民サービスの向上を図る。



保育施設AI入所調整システム導入事業

提案者	薩摩川内市			
実施地域	薩摩川内市 分野別モデル AIによる保育所入所選考マッチング			
事業概要	申請者の世帯状況や入所希望施設により、手作業で行っていた保育所入所選考事務にAI導入を導入することで、大幅な作業時間短縮が図られ、職員のワークライフバランスを実現する。ま早期に入所結果通知書を申請者に送付することで市民サービスの向上を図る。			

現状

基幹システムから入所申込者のデータをExcel に出力し、複数の条件や保育所等の空き状 況を勘案しながらの手作業による入所調整。

- ・担当職員が1ヶ月半はほぼ毎日残業
- ・入所の可否が分かるのが2月下旬になることも



導入後

基幹システムから入所申込者のデータを出力し、AIシステムを実行するだけで入所調整ができる。

- ·数十秒で作業終了(**大幅な作業時間短縮**)
- ・入所決定通知を2月上旬には発送できる



- ・システムによる公平な選考
- ・早期の入所可否による保護者の満足度の向上
- -保育施設の受け入れ準備期間の確保
- ・作業時間短縮による担当職員のワークライフバランスの実現



提案者	一般社団法人 しま・ひと・た	こから		
実施地域	鹿児島県奄美市・徳之島	分野別モデル	働き方	テレワーク
事業概要	地域資源を活用して「ふるさとテレ 設のテレワーク拠点化を行う。さら	-		
一般社団法人 しま・ひと・たから 医療 拡大展開 観光				

